

令和２年度 第２回桑名市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和２年１２月２４日（木）１０：００～１１：３０

開催場所：桑名市役所 ５階 中会議室

出席者：委員 １９名

傍聴者：２名（報道１名含む）

１．桑名市コミュニティバスの現状について【資料１】

【質疑応答及び要旨】

・デマンド乗合タクシーを試験運行して、わかったこと、分析できたことは。多度地区の住民に病院まで行きたいと言うのに、なぜコミュニティバスに乗らないのか尋ねると桑名駅前まで乗り入れていることを知らない。車だと言いたい時に行って、帰りたい時に帰って来られるが、コミュニティバスだと一日かかってしまう。地域住民は言う割には知らない、乗らない。そこをどう対策していくのか。現状をみてどうこれからに繋げていくのか。
⇒多度、長島から桑名駅前へ乗り入れるルートへ２月に改正をしたが、時間がかかる、乗り入れることを知らないとの利用者から意見をいただいている。周知の仕方を検討していきたい。

・今年度のコミュニティバス利用状況では、新型コロナの影響が大きいと思われるが、どのように回復させていくのかが今後の課題である。各交通事業者の新型コロナの影響はどうか。

⇒三重交通㈱は、大山田団地やネオポリス団地から名古屋・栄への高速バスの利用者は、対前年４～５割減ほどで、テレワークの推奨や、通勤方法の変化によるものである。最悪の時期は６割減であったが、徐々に回復してきており、今秋時点で３割減。長島温泉線は、外国人旅行者がおらず３～４割減、今秋のGo To トラベルで若干回復したが、第３波により落ち込みだしている。

⇒中日臨海バス㈱は、乗合バスはコミュニティバスだけであるが、利用者は１～２割減。新型コロナの影響に加え、深谷地区の方からは桑名駅前へ行くのに、２月のルート改正で多度へ延伸したことで余分に３０分かかるので、養老鉄道を利用した方が早いとの声をいただいているので、その影響と思われる。

⇒三重県タクシー協会は、県全域で、４～５月にかけて８割減。観光地の伊勢は９割減。徐々

に回復したが第2波で再度落ち込んだものの、10～11月時点で、対前年2～3割減まで回復。第3波により3～4割減で推移すると思われる。タクシー業界は12月が一番稼ぎ時なので、厳しい状況である。観光地、夜の飲食関係、企業での利用が少ない。三重県内では、1社廃業、1社休業。

⇒三岐鉄道は、北勢線では、緊急事態宣言による4～5月の学校の休校が大きく影響し、半減。徐々に回復してきており、上半期では2割半減。一般利用者が、利用を控えていたり、花火大会やサンタ電車等のイベントの中止により、定期外利用者の減少が著しい。

⇒養老鉄道は、三岐鉄道とほぼ同様で、4～5月の学校の休校が大きく影響し、5割弱減。上半期3割強減。10月から徐々に回復してきている。

⇒名古屋の大学は、現在でもリモートの授業をしていたり、新宿駅や渋谷駅は、利用者が3～4割減との報道をみると、生活様式が変化していることがわかる。生活様式が戻らなければ、利用者が戻らないままで、減便という対応に繋がっていく。既にタクシー会社の廃業、休業もあるとのことであり、公共交通の存続の瀬戸際であるという認識が必要である。

2. 報告事項【資料2】

- ・桑名市新型コロナウイルス感染症に対する交通事業者支援について
- ・桑名市自動運転バス実証実験について
- ・桑名市長選挙期日前投票者へのコミュニティバス運賃無料、移動選挙バスについて
- ・地域公共交通活性化再生法の改正について → 地域公共交通計画策定の延期
- ・バス停留所安全性確保対策実施状況について

【質疑応答及び要旨】

- ・移動選挙バスは、効果があったのか。

期日前投票者のコミュニティバス運賃無料件数は11件であったが、北勢線のサンタ電車イベント時に、初めて東員町コミュニティバスの無料券を配布した際は、利用が4件であった。毎年利用者は増えてきているが、続けていくことで周知できるので、来年の衆議院選挙でもぜひ継続していただきたい。

⇒担当課に確認したところ、移動選挙バスの取り組みは一定の効果があったとのこと。

- ・バス停留所安全性確保維持対策実施状況について、市へはどのようにこのような通達されるのか。

⇒平成30年8月、神奈川県横浜市で横断歩道から5m程度に設置されたバス停で、小学生

女子児童がバスを降り横断歩道を渡ろうとしたところ、バス後方から来た軽ワゴン車に轢かれ死亡するという事故があったことから、報道でも段階的に大きく取り上げられ、潜在的な危険なバス停が認識されるようになった。国としても重く見て、このような通達がなされた。通達を受け、各県で検討会が開催され、安全性確保に向けて検討している。

⇒警察では、公表前に安全性確保対象のバス停を全て現場確認してきた。市でも全て現場を確認していると報告を受けている。安全性確保のため、横断歩道をどうするか、バス停の位置をどうするかといった案は考えている。今後、交通事業者含め検討、実施していく。

88箇所のうち1箇所は既に桑名管内で対応済みである。今後、三重支局ホームページのリストも更新されていくと聞いている。

3. 協議事項【資料3】

- ・桑名市コミュニティバスの路線変更について → 承認
- ・長島地区デマンド乗合タクシーについて → 承認

【質疑応答及び要旨】

・桑名市健康増進施設「神馬の湯」バス停の新設やバス運転手の労働時間の改善に伴う、多度ルート・北部ルートの路線変更について、今後、交通事業者等との協議、精査により時刻に若干変更する可能性はあるかもしれないが、「神馬の湯」オープン日に運行開始ができるよう、本日審議、議決していきたい。

・「新馬の湯」に入る際に右折はあるか。多度町民は、冬の積雪時に坂道を下ってきての右折は危険なため反対が多い。

⇒北部ルートは左折のみであるが、多度ルートはなるべく多く「神馬の湯」へ乗り入れたいと考えており、道路に右折帯を設けられたことから、右折での進入も考えている。

⇒貴重な意見であると思うので、右折帯の整理だけで済むのか検討していただきたい。

・多度ルートは、現行ルート上に「神馬の湯」を新設するので、新しいルートは創設しない。北部ルートは、多度町内で現行ルートから回り方が変わるので、新しいルートを創設するという事でよい。

⇒多度ルートは、新しいルートは創設しない。北部ルートは、下野代北交差点から北上し、多度地区市民センターまでのルートが、新しくルートとなる。

・国道 258 号線を通るほうが渋滞に巻き込まれる可能性が高くなり、より時間がかかるように思われるが、定時運行に支障はないか。

⇒2車線区間なので、問題ないと思われる。

- ・今いただいた意見を1月中に精査・調査し、「神馬の湯」オープン日から乗り入れできるよう交通事業者と諸手続きを進めていただきたい。

- ・デマンド乗合タクシー委託事業者の名鉄四日市タクシー(株)は、了承済みか。

⇒名鉄四日市タクシー(株)とは、協議はしていないが、例年、年明け頃に県タクシー協会に推薦をいただき、その事業者と委託契約させていただいている。来年度については、これから推薦いただく事業者と委託契約したいと考えている。

- ・名鉄四日市タクシー(株)が、委託を拒んだ場合どうなるか。

⇒推薦時に委託可能かどうかも含めて、推薦をいただいていると考えている。

⇒今後、事業者と協議、調整させていただく。持続可能な公共交通を確保していきたいということで、来年度は試験運行という形ではなく、現在と同内容で継続していきたいと考えている。

- ・1時間半前に電話予約したが断られたという話を聞いたので、やるからにはきちんとやっていただきたい。地域住民への周知もまだまだ足りないと思われる。

岩崎会長

- ・長島地区デマンド乗合タクシーは、来年度は試験運行という形ではなく、現在と同内容で継続していくことについて、異議がないようなので承認とする。

4. その他

- ・桑名市、いなべ市、東員町、三岐鉄道(株)で構成する北勢線事業運営協議会で、通勤利用者の回帰・新規獲得等北勢線の利用促進のために、北勢線P&Rチラシを作成した。

- ・東員町では、サンタ電車イベント時に、コミュニティバス車内にも飾り付けをしている。今年は、新型コロナでサンタ電車イベントが中止になってしまったが、来年は桑名市もサンタ電車イベント時にコミュニティバスの運賃無料や車内の飾り付け等試みてほしい。

- ・先週、桑名北高校1年生200人に、なぜ北勢線を維持しなければならないか、北勢線、養老鉄道、コミュニティバスの利用を今後促進していくのにどのようなアイデアがあるか、アンケートをしたので、面白い意見があれば事業者や市へ共有したい。

- ・昨年、公共交通空白地の解消ということで城南地区の一部に延伸していただき、市の担当

者が有志に対し、コミュニティバスと養老鉄道や北勢線を利用してどういうことができるか説明をしてくれた。まちづくり協議会のチラシでも紹介した。しかし、南部東ルート
の時間帯や回り方が使いづらい要因もあるので、今後検討して行ってほしい。

- ・コミュニティバスを利用して、「神馬の湯」を利用した人は割引したらどうか。

- ・多度地区でのデマンドについて、以前から要望しているがどうか。

⇒人口減少、運転手不足等に加え、4月から MaaS 推進室を創設しまちづくりとあわせて交通政策を検討していきたい。以前から声をいただいているデマンドを含め、様々な手法・モビリティにより地域にあう交通を検討していきたい。

- ・コミュニティバスの時刻表が高齢者には見づらい。AI を活用して、マイ時刻表を作成してはどうか。

⇒アプリでの実証実験が全国でも始まっており、観光を中心としたアプリから交通を繋いだり、生活面からのアプリもある中で、市としても IT を活用していくことを検討していきたい。一つの手段として、アプリも検討したいと考えている。

- ・K バスの看板が真っ白になっているので、付け替えてほしい。

⇒以前から要望をいただいているということで、今後確認、検討していく。

- ・桑名駅の自由通路にトイレがないということをパブリックコメントで意見したが、無理ですというそっけない回答であった。設置を検討してほしい。

⇒8月末に自由通路が開通したが、東西の駅前整備はこれから進んでいくので、その中で検討を進めていきたいと考えている。